

北部九州相談員研修の取り組みと今後の課題

～相談員研修計画実施経過報告
「のぼせもん」の成り立ちとその一歩～

北部九州チーム

大元元子・松本知子・松尾由佳・織田久美子・嶺佳代・北嶋晴彦

安藤 真紀・青木美帆・満山晶子・緒方美穂・上村裕子・中田千恵子

研修目的

がん患者さんが何処にいても、質が変わらず、
切れ目のない医療を、安心して受けることがで
きる相談支援を行うことが望ましい。その為
には、相談員育成とネットワーク作りが急務と考
え、今回、相談員研修企画に取り組んだ。

隣り合わせのがん医療



折角、島国九州人が集まっただけん ちからをあわせれば、よかたい

手と手を握り合う、一人の力は
小さいけれど、繋ぎ合わせた
力は大さ

長崎五島から
福岡・博多に行くもんネ
……



大牟田は福岡市内とか、
流尾に行ったりきたり
だもんネ……

熊本からは久留米・
九州大学・九かん
多かもんネ……

北部九州ののぼせもんチーム

- 九州がんセンター } → 福岡チーム1
- 九州大学病院 } → 福岡チーム2
- 大牟田市立病院 } → 福岡チーム2
- 社会保険組合田川病院 } → 福岡チーム2
- 長崎大学病院 } → 長崎チーム
- 長崎医療センター } → 長崎チーム
- 熊本大学病院 } → 熊本チーム
- 熊本市民病院 } → 熊本チーム
- 済生会熊本病院 } → 熊本チーム

北部九州ののぼせもんチーム

のぼせもん立ち上げの目的

①情報共有

患者さんが県を越えて治療に行かれているという現状から、
他県の情報を知る必要がある。

②モチベーションの維持・向上

情報交換や交流の場をもつことにより、意識向上に繋がる。

③協力体制の構築

研修の際、県内の顔見知りの相談員間では、ファシリテーターとしてやり難いため、互いにファシリテーターを補うことができる。

のぼせものの説明

“のぼせもん”

博多っ子の呼び名

「情熱を持って頑張っている熱い博多っ子」

ちなみに、博多どんたくは“のぼせもん”のおうなはしまらんばい。と言われます。どんたく隊と呼ばれる様々なグループが街を練り歩き各ステージでおどりを披露するのも、この熱い博多っ子の気性からだと言われています。

現在進行形 長崎

- ・ 県や担当医師(上司)へ報告
部会での情報提供と検討が必要、これは主催・運用の問題で今後、何処で企画実施するのかを考えておく必要がある。
次年度予算では対応できず、次々年の予算対応となる可能性。時間をかけての検討
看護部との調整も必須。
他県との競争意識が有り壁は厚い

現在進行形 福岡その①

- ①: 3月の福岡県主催「相談支援センター連絡会議」で指導者研修会の報告を行う。
平成24年度は、実務者の横のネットワーク作りから始める。
⇒県内の相談支援センターの集まりを各ブロックと県全体で4回程度行う予定。メーキングリストも検討中。
⇒そこで出た意見等を参考に研修会の企画・実施 も行う。

福岡その2

- ②予算については、県へ相談したが次年度の予算に組み込むのは難しい。

現在進行形 熊本

- ・ 相談部会へ相談
できれば、5月～6月中くらいに一度実施して、今後を考える。
現在、具体的な項目の検討中
・部会の小委員会(研究会)の委員長と詳細検討
大切なことなので、積極的に支援をするとのこと。
・県の姿勢・意向を確認する必要あり。

今後の課題

- ①財源・運営
- ②県担当職員や拠点病院/相談支援部門担当医師等の理解・協力
- ③組織の位置づけ
- ④個人の負担がある(⇒モチベーション)
- ⑤今回、九州で参加できなかった県をどのように巻き込むか

北部九州“のぼせもん、”
一部のメンバーです



よろしくネ！！

ありがとうございました。

2012年1月27日 於：博多